～　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３月号

川口市立仲町中学校

所在地 川口市西川口２－１６－１

電　話　０４８（２５２）６１４０

**令和５年３月１日**

さわやか相談室（２５２）６８９２

通級指導教室　（２５４）２２３０

　　『笑顔と規律と彩りのある学校』～地域に愛される学校～

ホームページ「仲町中」で検索を！<http://www.nakatyou.edumap.>jp

「学　び」

校　長　　中　島　俊　幸

　 春の兆しが少しずつ感じられる日々が始まり、心もおだやかになる時期となりました。新型コロナの感染も減少傾向が続き、４月からはマスク着用も緩和される見通しで、学校生活においても次年度に向けてコロナ前の活動に少しずつ戻していく準備を始めているところです。

　３月は中学校で最大の行事である卒業式があります。コロナ禍でいろいろな制限（令和２年度は卒業生のみ、令和３年度は卒業生と保護者１名のみなど）で実施してきましたが、今年は在校生、保護者、地域の皆様を招き、盛大な卒業式ができること、本当にうれしく思います。特に１，２年生は小学校時代より在校生として卒業式に参列した経験がないと聞いています。静粛な式の中で３年生が立派な態度で卒業証書を受け取る姿を見るだけで在校生の尊い「学び」となります。また、卒業していく３年生にとっても在校生、保護者、地域の方々に見守られながら臨む式から「学び」が生まれ、卒業できることの喜びをあらためてかみしめる機会となるでしょう。私も誠心誠意心を込めて式に臨みたいと思います。

次年度から「学び」について本校で研究・実践を始めていきます。近年の社会情勢は著しく変化しています。日本を取り巻く国際社会、進展し続けるＡＩ、多様な価値観の共有など、次世代を生きる子どもたちには思考力・判断力・表現力をしっかりと身につけさせることが求められています。具体的には、正解のある問題を解決する力ではなく、自分の頭で考える力を身につけることです。つまり今まで行われてきた「学び（授業）」、先生に答え方を教わり、解き方を暗記し、テストで満足する。といったものだけでなく、むずかしい問題に自らチャレンジし、他者と協力し、知恵を出し合いながら答えを導き出す「協同で探究していく学び」を研究実践していきます。これは、東京大学名誉教授の佐藤学先生が提唱する「学びの共同体」という理論と実践です。今、世界各国そして日本でも実践している学校が増加しており、この実践により、学力の向上はもとより、問題行動や不登校の減少にもつながる結果が出ています。この取組にチャレンジし、子どもたちが「学び」そのものの良さや喜びを感じることのできる授業の実現に向けて準備を始めています。

終わりに、保護者、地域の方々には今年度も本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。今後とも仲町中学校へのご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。